



## 6.株式の持ち主【株主】について

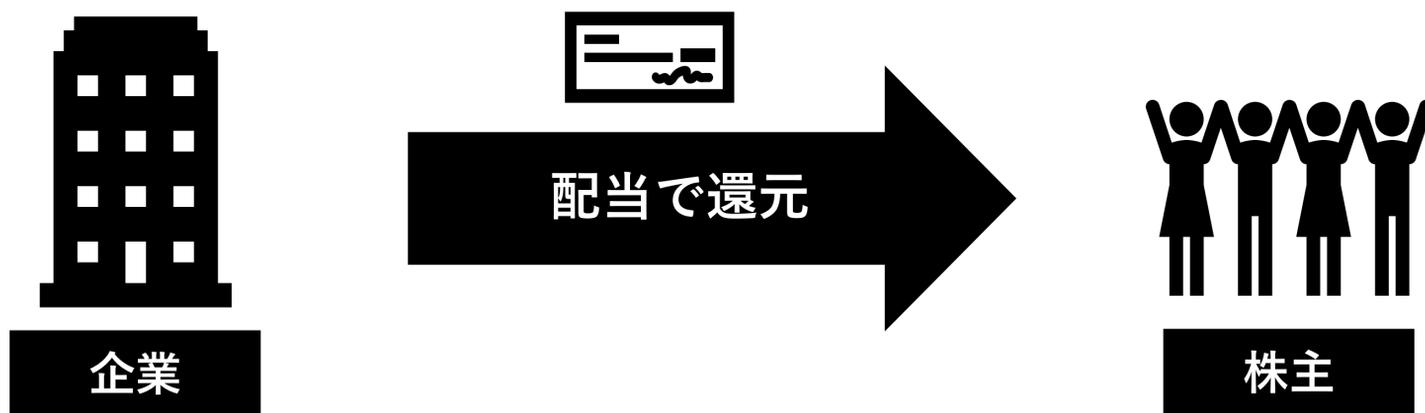
株主になるとどのような事が得られるのか？

### 株主になると会社のオーナーになれる！？

株主になるというのはその**会社のオーナー(出資者)の1人になる**ということなのです。

株主になると、その人には**いろんな権利**が与えられます。

#### 配当請求権



ひとつは配当をもらう権利【**配当請求権**】を得ます。

会社が利益を出したら、その会社の株主は、持っている株式の数に応じて**利益の一部を受け取る**ことができるのです。株主としては配当は多いほうがいいですね。

#### 議決権



その会社ができるだけたくさんの利益を出すよう頑張ってもらいたい。

そこで株主には【**議決権**】という、その会社の経営へ**口出しをする権利**が与えられます。

具体的には株主が集まってその会社の経営について議論する【**株主総会**】という会議に出席をして意見を言うことができます。

ちなみに、株式をほんの少し持っているだけでは、その会社の経営を大きく動かすことはできません。

株式を沢山持っている人のほうがやはり、**発言力も説得力も強くなります。**

# 権利と責任について

株主になると権利と責任もあります。

もしもその会社が倒産して潰れてしまった時、その会社の残った**財産の一部を受け取る**ことができます。これを**【残余財産分配請求権】**といいます。

ただし株式を得るために**最初に払ったお金は返ってきません。**

これは株主としての**【責任】**となります。

またその会社の赤字が続いたら、**何年間も配当が出ない**ことももちろんあります。

株主は、最初に払ったお金が返ってこなくても、配当が受け取れなくても文句を言う権利はありません。

つまり株主にはいろんな権利があるけど、その分、その会社の経営の結果に対する責任も一緒に負わなければならない、権利と責任の両方が課せられます。

その他にも、持ち株数に応じて自社の商品やサービスの優待券などを株主への特典として提供している企業もあります。これを**【株主優待】**といいます。



## 魔弾の結論

権利と責任はセットです。

### 権利

- ・配当をもらう権利
- ・株主総会で意見する事ができる権利

### 責任

- ・会社が潰れた場合は株式を得るために最初に払ったお金は返ってこない責任

